

ヒトパピローマウイルス (HPV) 感染症の予防接種 (子宮頸がん予防ワクチン) について **不活化ワクチン**

定期接種対象者

対象者		通知方法
生年月日	学年	
平成23年(2011年)4月2日～平成24年(2012年)4月1日生	小学6年	令和5年4月個別通知します
平成22年(2010年)4月2日～平成23年(2011年)4月1日生	中学1年	令和4年4月通知済み
平成21年(2009年)4月2日～平成22年(2010年)4月1日生	中学2年	
平成20年(2008年)4月2日～平成21年(2009年)4月1日生	中学3年	
平成19年(2007年)4月2日～平成20年(2008年)4月1日生	高校1年相当	

キャッチアップ接種対象者

HPVワクチン積極的勧奨の差控えにより接種機会を逃した方に対して公平な接種機会を確保するため、3年間従来の定期接種の対象年齢を超えて接種を行います。

対象生年月日	平成9年(1997年)4月2日～平成19年(2007年)4月1日生の女子
期間	令和4年(2022年)4月～令和7年(2025年)3月の3年間

●キャッチアップ接種の期間中に定期接種の対象から新たに外れる世代についても、順次キャッチアップ接種の対象者となります。具体的には、平成18年度生まれの女子は令和5、6年度の2年間、平成19年度生まれの女子は令和6年度の1年間、キャッチアップ接種の対象となります。

コロナワクチンとの接種間隔

コロナワクチンと HPV ワクチンとの同時接種はできません。



日本脳炎の特例について

対象者：平成7年(1995年)4月2日から平成19年(2007年)4月1日の生まれで20歳未満の方(平成17年(2005年)5月30日の積極的勧奨の差し控えによって第1期、第2期の接種が行われていない可能性がある方)

過去の接種回数	接種方法
0回	6日以上、標準的には6日から28日までの間隔において2回、追加接種は2回接種後6月以上、標準的にはおおむね1年を経過した時期に1回接種
第1期1回	6日以上の間隔において2回接種
第1期2回	接種済みの2回と6日以上の間隔をおく
第1期3回終了	第1期と6日以上の間隔をおく

高齢者の定期予防接種

ワクチン	回数・費用	対象者
高齢者インフルエンザ 不活化ワクチン	年1回 1,500円	①接種日に65歳以上で接種を希望される方 ②接種日に60歳以上65歳未満で、心臓、腎臓若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能に障害のある方(医師の診断が必要)
高齢者用肺炎球菌 不活化ワクチン	生涯1回 3,000円	①今まで一度も高齢者用肺炎球菌(23価)ワクチンを接種したことがない方で、次の生年月日の方 65歳：昭和33年(1958年)4月2日～昭和34年(1959年)4月1日生 70歳：昭和28年(1953年)4月2日～昭和29年(1954年)4月1日生 75歳：昭和23年(1948年)4月2日～昭和24年(1949年)4月1日生 80歳：昭和18年(1943年)4月2日～昭和19年(1944年)4月1日生 85歳：昭和13年(1938年)4月2日～昭和14年(1939年)4月1日生 90歳：昭和8年(1933年)4月2日～昭和9年(1934年)4月1日生 95歳：昭和3年(1928年)4月2日～昭和4年(1929年)4月1日生 100歳：大正12年(1923年)4月2日～大正13年(1924年)4月1日生 ②60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器の機能および、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能のいずれかの機能障害において、身体障害者手帳1級の人 期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

大人の風しん

ワクチン	回数・費用	対象者
風しん抗体検査 予防接種	各1回 無料	抗体検査 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性 接種 抗体検査を受けた方のうち、風しんに対する抗体価が十分ではないと判断された方

対象者のうち、クーポン券を無くした等の場合は宮代町保健センターへお問い合わせください。

問合せ 保健センター 電話 0480-32-1122